

鈴木
武研究員

梅雨の時期には、アジサイにカタツムリというのがよく取り上げられる風景です。日本産陸生貝類は80種ほどとされていますが、ナメクジや1ミリ程度の小さい種類を含めてです。



0種ほどとされていますが、ナメクジや1ミリ程度の小さい種類を含めてです。兵庫県では、殻の直径が2センチ以上の中型～大型のカタツムリは17種程度が分布しています。この中で、今回は、ハリママイマイとコハ

クオナジマイマイの2種を取り上げます。

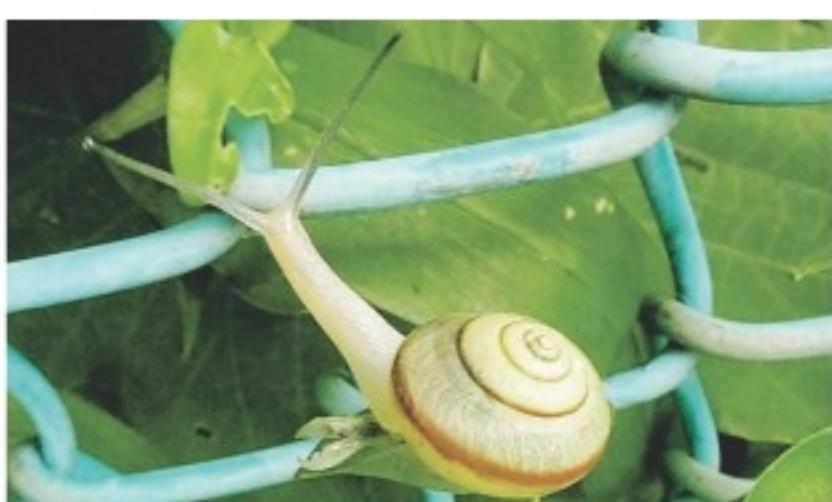
ハリマママイマイは殻の幅が3センチ程度で、普通にカタツムリに見える大きさです。殻は横から見るとどうがつた三角形状で、殻の表面はざらついているのが特徴です。色はうすい黄色から濃茶色までさまざまです。名前の通り「播磨」を中心

に分布しており、県内のみ

A close-up photograph of several snails resting on a person's hand. The snails have light-colored, spiraled shells with dark brown or black stripes. Their bodies are yellowish-brown with dark stripes, and they have long, thin antennae. The background is plain white.



A close-up photograph of a white-lipped snail (Cepaea hortensis) crawling on a green leaf. The snail has a light-colored body and a shell with prominent brown bands. It is positioned on a light blue vine or stem.



の住吉川周辺、北部は北区箕谷までが見つかっている範囲です。有馬温泉周辺や三田市などでは見つかったことがあります。雨上がりには壁や木に登ることが多い種です。形も特徴的なので、マクロ撮影の写真でも判定できます。

九州などは自生しているのですが、兵庫県では最近に入ってきた国内外来種です。省内でもあちこちで見つかり、しかも、何年も続けて見つかる場所も但馬や丹波、阪神など複数あり、定着していると言つていいでしょう。野菜などを食べるとも言われていますが、兵庫県や鳥取県の事例では、田んぼや川のわきの雑草、特にクズやカラムシなどで見つかっています。小型で見つかりにくいうこともあります。がりが定かではありません。この種類も写真で十分に判定できます。ともに見かけられたらご一報ください。